

特集

平成29年度 決算状況

財政局課 回(32)6212

平成29年度決算の結果は、財政健全化法に基づく4指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。

今後も、健全な財政の維持に努めていきます。
各会計の決算概要をお知らせします。

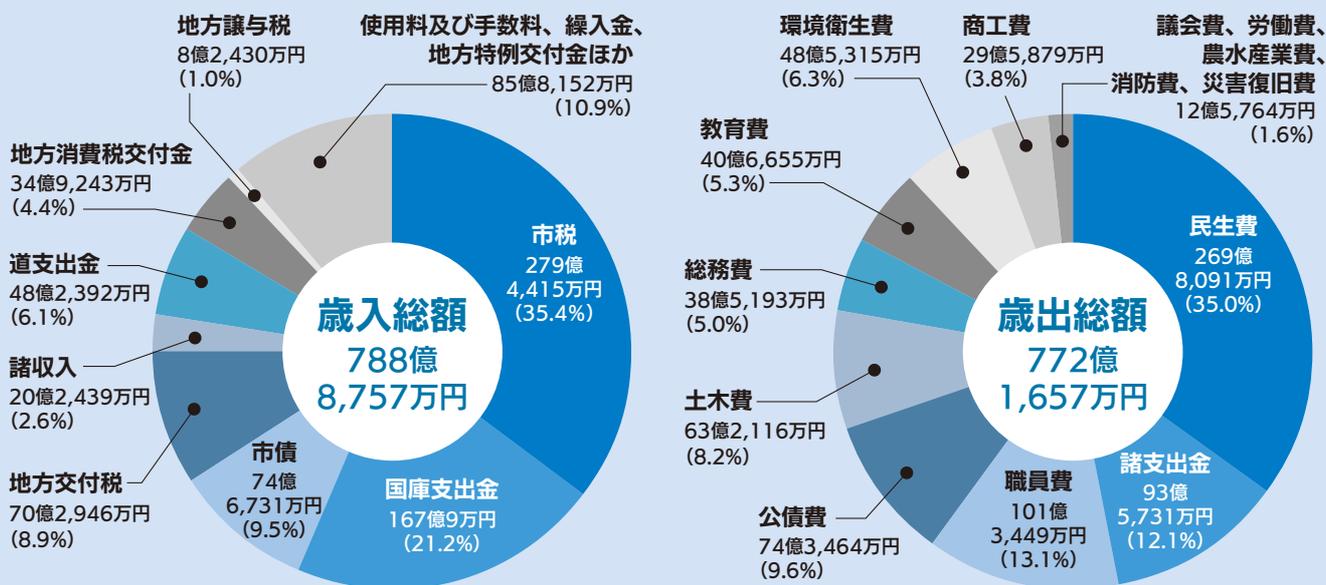
一般会計の決算状況

一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は788億8,757万円で、前年度に比べ6億6,508万円（0.8%）減少しました。歳出（年度中の支出）の総額は772億1,657万円で、前年度に比べ11億3,117万円（1.4%）減少し、差引額16億7,100万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち国庫支出金や市債などが減少したものの、市税が3億2,883万円（1.2%）増となったことや、道支出金が5億7,365万円（13.5%）増となったことによります。

歳出のうち、主要事業費は総額191億7,692万円で、沼ノ端クリーンセンターや学校の老朽化対応のほか、立地企業サポート事業や日本女性会議開催、保育環境整備などの事業を行いました。また、毎年度経常にかかる経費については、扶助費が増加しました。



市民1人当たりの決算額

■市税負担額 **162,751円** (2,756円増加) ■使われた経費 **449,721円** (4,203円減少)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 122,832円 (1,165円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 53,659円 (273円増加)
- 公債費 [借入金の返済に] 43,300円 (141円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに] 62,557円 (8,487円減少)

※金額は、一般会計の決算額を平成30年3月31日現在の人口171,699人で割ったもの。()は対前年比